

I Hコンロ、エコキュート、太陽発電のソーラーパネルなど、省エネ設備の販売、施工もしています。お気軽にご相談ください。

リフォームワンポイントアドバイス

屋根葺き替えは困り込み工法で。

屋根の石綿スレート瓦を解体・除去しないでリフォームした事例をご紹介します。

ホームページを開設しました。アドレスは、<http://egao-sintex.com/>です。事例がカラー写真で見ることが出来ます。ぜひご覧ください。

工事情報

■ きっかけは雨漏り ■

台風や梅雨の時期には雨漏りの相談が多くあります。室内の天井、壁などにシミが付いたり、漏れ場所が分からなくてもポトン…ポトン…という雨漏り音が聞こえて、気づくことが多いと思います。

今回のお客様も、雨が降ったとき、天井に濡れたシミができて雨漏りに気づき、「相談がありました。」

伺って確認してみると、屋

根が腐食している箇所や屋根裏に雨漏りのシミが幾つかあることが分かりました。

屋根瓦は石綿スレート材で、石綿(アスベスト)が飛び散ると健康被害が出るので、今ある石綿スレート瓦をはがさない、困り込み工法で屋根を葺き替えることにしました。

■ 工法と屋根材 ■

既存の屋根材をはがさず、上から新しい屋根材で覆うことを、困り込み工法と言います。カバー工法、重ね葺きなどとも呼ばれています。

この工法のメリットは、屋根瓦を解体しないので、工期が短く廃材が出なくて工費が

安価になる。屋根材に石綿が含まれている場合は、石綿の粉じんが出なくて作業環境が良い。などあります。

お客様の屋根は、スレート瓦で凹凸が少ないので、金属瓦で全体を重ね葺きすることにしました。金属瓦は粘土瓦の十分の一程度の重さで、重ねて葺いても家にもあまり負担がかからないという利点があります。

使用した金属屋根材は、表面はガルバリウム鋼板という耐久性が高く、太陽の熱をさえぎる遮熱機能が付いた金属で、表面塗料に十年保証が付いています。

さらに金属瓦の中には硬質ウレタンが入っており、断熱性はもとより雨音などの防音性にも優れています。

■ 工事方法 ■

重ね葺きにする前に、部分的に傷んでいる箇所の補修、

棟包みの撤去、屋根のふちのケラバ、唐草からくさといわれる材料など取り付けしていきます。

屋根材の葺き方は、古い屋根瓦の上から防水シートを敷き、この上から金属瓦を重ねてビス留めしていくので、古い屋根の下防水シートと合わせて二重の防水になることや

金属瓦自体も防水性能は高いですが、現在雨漏りしているも、新たに防水シートを敷くので、傷みがひどくなければ、雨漏り箇所を探して補修しなくてもよい、ことなども利点です。

金属瓦は雪がすべりやすいので、お隣にご迷惑がかかる場所では、雪止めの取り付けをお勧めしております。工期は屋根面積約三十六坪で五日間でした。

■ 編集後記 ■

山崩れ、土石流、川の氾らん、台風、竜巻など自然災害のニュースを見る機会が多く、

被害の規模が大きくなってきているように思います。

最近の雨の降り方や、台風の通り方など十〜二十年前と何か違うような気がします。皆さんもお気をつけください。屋根、外壁、雨どいなど外回りで気になるようなこと、ございましたらお気軽にご相談ください。

リニューアル工房 シンテックス

市原市桜台1-4-37

<http://www.egao-sintex.com/>

TEL0436-66-8737

営業時間:月~日曜日 8:30~20:00